P検スキルマップ 1級 (出題範囲) <ビジネスイノペーションリーダーに要求される ICT活用スキル>

カテコゲー	サフ*カテコ リ	スキル	詳細 スキル
情報 セキュリテℰ	-	リスクマネージメントに対して具 体的な対応をとることができる	情報セキュリティマネジメントシステムを説明できる 情報セキュリティのリスクとそのマネジメントの具体例を理解している 情報セキュリティの各脅威に合わせた対応策を検討、策定できる 最小費用で最大の効果をあげる対応策を検討、決定できる 情報漏洩に対する社会的影響を最小限に抑えることができる 不正アクセスの技術的な仕組みを知っている
		人と組織を管理・指導することが できる 情報セキュリティに関わる文書管	一般社員に対するセキュリティの維持・向上策に関する指導ができる 外部協力会社に対するセキュリティ上の管理ができる セキュリティ向上のために役割を分担し、作業を切り分けることができる 社内情報システムの運用に関わる資料・情報を管理できる
		用報とイュリティに関わる文書自 理ができる 企業内ネットワークの設計ができ	部門システムの運用に関わる資料・情報を管理できる 企業内ネットワークの論理的な設計ができる
企業内 ネットワーク 構築	-	る 企業内ネットワークを構築するこ とができる	企業内ネットワークの物理的な設計ができる 企業内の小規模 LANを構築できる ネットワークの分割ができる 複数拠点を接続するネットワークを構成できる
業務 プロセ <i>ア</i> セン 善	-	情報を共有し活用することができ る	業務に関わる部門全体に適した情報共有・活用の目的を明確化できる 情報共有・活用のための体制を構築できる 必要な情報を選定し、情報共有することができる
		コンプライアンスとはどのような ものか説明できる	コンプライアンスとはどのようなものか説明できる コンプライアンスに関連する基礎的な法律を理解している 社会規範に基づいた健全な行動を指導することができる 品質マネージメントとはどのようなものか説明できる
		品質マネージメントとはどのよう なものか説明できる	業務プロセスを手順化し、継続的にプロジェクトを推進することができる ISO9001の概要を説明できる
		ICTを活用した業務プロセスの改善 ができる	情報共有・活用のための体制を構築できる 業務フローを分析し、ICTを活用して業務上の重複やムダを省くことができる 企業の将来を見据えた最適な業務プロセスを設計することができる 経営品質の向上を目標とする改善を進めることができる
ICTを活用し た問題解決	-	もとに、論理的な思考により、物	文脈の中から意思決定に必要な複数の情報を抽出することができる 複数の情報のニュアンスを読み取り、関連知識と結びつけ有用性 を判断できる 複数の情報を既知の知識と結びつけ、漏れやダブリなく整理する ことができる
		与えられた情報を活用し、自らの 環境の下で必要な物の選択や行為	整理された情報をもとに、物の選択や行為の決定などの意思決定ができる 文脈の中から意思決定に必要な複数の情報を抽出することができる 複数の情報を、カテゴリを決めて整理・区分けできる
		の決定を、 ICTの科学的な理解のも とで行うことができる	整理された情報を関連知識と結びつけ、科学的に分析・計算することができる 結果の妥当性を文脈に照らして再考し、評価することができる 文脈で得られた情報を読み解き、解析・設計の対象を明確化でき
		新しい体系、方式、組織などを設計する際、対象のモデル化と設計の手順化を行うことができる	る 問題解決に要求される解析・設計の手順を分析することができる 分析結果をもとに、作業を最適なステップに分解することができる 一連の作業の流れを、適切な手段を用いて分かりやすく図表等に表現できる
		既存の体系、方式、組織の中の課 題を見つけ、関連諸要素を解析す ることで解決策を立案することが	文脈で得られた情報の性格付けを行い、課題を可視化することができる 可視化された情報をもとに、解析・設計に必要な情報を抽出することができる 抽出した情報をもとに解析・設計を行い、解決策を得ることがで
		できる	海山 した情報をもこに解析・設計を打い、解決策を得ることができる 得られた結果の汎用性を確認することができる

P検スキルマップ 1級 (出題範囲) <ビジネスイノベーションリーダーに要求される ICT活用スキル>

カテコ・リー	サフ`カテコ リ	スキル	詳細スキル
ICTを活用し た問題解決		トラブル、割り込み、予定からの 逸脱、第三者の誤りの修復などへ の対応や予防措置を講じることが できる	得られた複数の情報を重要度、緊急度を意識し関係付けできる整理した情報を推論や仮説をもとに批判的に評価することができる 社会的・技術的に受け入れられる解決方法を複数、選ぶことができる 適切な方法、表現で第三者に問題解決の方法を伝えることができる